

平成25年度

別海町立別海中央中学校



校訓
独立 自主
開明 達朗



「さわやか中央中」
よい挨拶
よい身だしなみ
よい話し方



別海町立別海中央中学校

〒086-0214

北海道野付郡

別海町別海緑町 116 番地 4

TEL 0153-75-2251

Fax 0153-75-3753

Mail schuo@b-school.jp



教育目標

1. よく考える生徒
2. 進んで行動する生徒
3. 健康で心の豊かな生徒

平成25年度の経営の重点目標

1. 基礎・基本を身に付け、学力の向上を目指す教科指導
2. 思いやりの心など、豊かな心を育てる教育活動
3. たくましい気力・体力を育成する健康安全指導
4. 地域に開かれ、地域とともに進める特色ある教育活動

今年度はここに力をおきます

- 定着を目指した「分かりやすく楽しい授業」を大切にします
- 「学習意欲の向上と学習習慣の確立」を目指した指導を大切にします
- 思いやりの心、豊かな心を基盤に、「あたり前のことをあたり前にできる」実践力を育てます
- 命の大切さと体力の向上をめざし、「たくましい気力・体力」を育成する健康安全指導を充実します
- 体験学習の充実、人材活用を通し、「地域に開かれ、地域とともに進める教育活動」を推進します

今年度の合言葉

「さわやか中央中」

- ・ よい挨拶
- ・ よい身だしなみ
- ・ よい話し方



学校の歴史

- ◎昭 22.4.1 別海村立西別中学校として開校
- ◎昭 41.4.1 大和中学校と統合
- ◎昭 46. 町制施行後、別海町立西別中学校に改称
- ◎昭 53.4.1 別海町立別海中央中学校に校名変更
- ◎昭 53. 開校30周年記念式典挙行
- ◎昭 58.11. 現在地に校舎移転
- ◎平 10. 開校50周年記念式典挙行
- ◎平 24. 開校65周年目を迎える

【学校評価結果から】

- 素直で真面目な生徒
- 行事等へ一生懸命取り組む生徒
- 指示待ち
- 自ら学習する意欲が低い
- 進路への意識が低い
- △挨拶・清掃活動への取組の個人差

【全国学力・学習状況調査(3年生)結果から】

- 全国比 国語A…やや低い 国語B…高い
 数学A…やや低い 数学B…同じ
- 学習状況**
- 失敗を恐れず挑戦しようとする生徒が多い
 - 勉強が将来役に立つと考える生徒が少ない
 - 家庭での学習時間が少ない
 - テレビ・ゲーム等の時間が長い

めざすすがた

「さわやか中央中」

～よい挨拶・よい身だしなみ・よい話し方～

(重点1)基礎・基本を身に付け、学力向上を目指す
定着を目指した「分かりやすく楽しい授業」
学習意欲の向上と学習習慣の確立

(重点2)思いやりの心など、豊かな心を育てる
「あたり前のことがあたり前にできる」
実践力の育成

具体的な方策

■学ぶ意欲を高めさせる

- ・進路や将来の生き方と、「学ぶこと」の関連について深く考えさせる。
- ・生徒が学んだことを生かす学習活動を設定し、成果に自信を持たせる。

■学習規律を徹底する

- ・生徒に集団で学ぶためには学習規律が必要であることを自覚させ、整然とした雰囲気の中で学習に取り組めるようにする。
- ・生徒が学習したことを発揮できる学級の雰囲気づくりや集団づくりなど、学級経営の充実にも努める。

■指導方法を工夫・改善する

- ・習熟度別指導やティーム・ティーチングなど指導方法を工夫・改善することにより、個に応じた指導を充実させる。
- ・生徒一人一人の学習の状況を見取り、情報を共有し、次の指導に生かす。

■授業改善に努める

- ・学習のねらいを明確にし、生徒が見通しを持って取り組める学習課題を設定する。
- ・分かりやすく、楽しい授業で、生徒にとって力の身に付く授業となるように努める。
- ・指導と評価の一体化を図り、生徒の取組の良さをほめ、生徒にとって次の学習活動へのエネルギーとなる評価をする。

■学習サポートを充実させる

- ・放課後や長期休業中を活用して、生徒一人一人の基礎学力定着をサポートする。

■学習習慣を確立させる

- ・学習意欲を喚起するため、成果を実感させ家庭学習取組の改善を図る。
- ・生徒が自ら学習の見通しを立てて取り組めるよう家庭学習の進め方を指導する。

■生活習慣を改善させる

- ・「早寝・早起き・朝ごはん・テレビを止めて家庭学習」を家庭と共に推進する。
- ・生徒が自ら生活を管理できるよう、規則正しい生活リズムを確立させる。

■心を育てる教育活動を充実させる

- ・教育活動の中で、「時間を守る」「挨拶・返事をする」「ゴミ一つない学校にする」を徹底させる。
- ・道徳の時間を要に、全教育活動の中で、自律心、挑戦心、団結心、向上心など、『心』を重視した教育活動を展開する。

■積極的な生徒指導を充実させる

- ・不登校生徒の解消のため、組織的な対応と関係機関との連携に努める。
- ・いじめや問題行動を未然に防ぐため、生徒理解や心のふれあいを大切にするとともに、携帯電話やメール等の正しい使い方について啓発する。

具体的な方策の効果を上げるために

教育課程で

- ・学習指導要領に基づき、「知・徳・体」調和のとれた生徒を育成する教育課程の編成・実施に努める。
- ◎学力向上を目指す。(授業時数の確保、日課表の工夫・改善など)
- ◎言語活動の充実を図る。(校内研修での取組) ◎心を育てる道徳教育を展開する。
- ◎保健・安全教育を推進する。(体力・安全・食育) ◎キャリア教育を充実させる。

生徒指導で

- ・教師と生徒の信頼関係、生徒相互の好ましい人間関係を築き上げるとともに、生徒理解を深める。
- ・気付いて判断・積極的な行動と責任感(受け身から脱する)を身につけた生徒を育てる。

連携で

- ・生徒一人一人の成長を、「学校」「家庭」「地域」で支えていく。(情報の発信と連携の強化)
- ・本校を中心に、「小学校」「高校」の連携強化に努める。(子どもの12年間の成長を見据えて)
- ・関係機関との連携をさらに強化し、本校の組織力を高める。(生徒のよりよい成長のために)

検証

- ▽Check(把握・検証)⇒Action(改善)⇒Plan(計画)⇒Do(実践)のサイクルを定着させる。
- ▽学級経営・教科経営の中で、反省の機会を適宜もつて、達成状況を明らかにし、改善を図る。
- ▽具体的方策の効果の度合いを数値等で分かりやすく示したりする。
- ▽学校改善アンケートを実施し、重点の達成状況を評価し、改善につなげる。
- ▽年度末に自己評価を行ったうえで、学校関係者による評価を受け、重点や方策に反映させる。



平成25年度・在籍生徒数

	男子	女子	計
1年	35	37	72
2年	33	28	61
3年	33	32	65
合計	101	97	198

平成25年4月1日現在